

# 中学生も展示あり



**中学生の文化祭展示**  
 中学生も、文化祭展示として教科展を行った。中に入らせてもらうとすごろくなど、楽しめる要素も含まれていた。  
 そのほかには、授業で作ったものの展示が行われたり、学んだ内容がプリントにまとめられていたりした。

# 文化新聞

6月号20

【発行・編集】  
 委員長 本道睦穂  
 副委員長 梨本あかり



一人の想いがみんなの  
 スペースに

## すみれキッズルームが実現

家族連れで来る人にも、すみれ祭を楽しんでもらえるよう、六月二十八日〜二十九日の一般公開日に合わせて、小さな子を預かるすみれキッズルームが開かれた。文化学園保育専門学校の学生方に協力を依頼し、本校でも、保育コースの生徒を中心に人を集めて実施された。このキッズルームができたのは、執行役員会で、役員が一人が「迷子の子がいたり、子供が原因でファッシュショーを見れない親御さんがいる」といったことだ。一人の想いがみんなのスペースになった。

## 全校制作

### アンブレラスカイが青空に光る

文化祭テーマ、Mirageによって生み出された全校制作はアンブレラスカイ。それぞれのクラスに配られたペンでビニール傘に絵をかき、一クラス一本、絵の書かれた傘を作った。すみれ祭では本部の後ろ側に展示された。アンブレラスカイは青空に映え、文化祭に彩りを添えた。

